

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>「チーム鴨志田」として全教職員が生徒と保護者にとって安全・安心で、活力と魅力のある学校づくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育に基づく、「生徒理解力」の向上を図り、授業や生徒会活動を充実させて生徒の自己有用感を醸成します。 ・学運協を中核として、地域との交流を促進と地域人材の積極活用に取り組み、より一層の安定化を目指します。 ・ブロック内小学校と地域密着を共同歩調として、連携・協働をより一層進めます。 ・教職員の人材育成を通して組織対応力を向上させ、豊かで魅力的な教育活動を組織的に展開していきます。 	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
豊かな心		だれもが安心して豊かに過ごせる学校を目指して、自他の人権を尊重し、豊かな人間関係を育む生徒を育てる。	① 教育相談や各種アンケート等の結果を職員間で共有し、個に寄り添った指導・支援を実施する。 指針3 確かな人権感覚・意識の育成 ② 道徳教育を多角的・多面的な見方へと広げられるように、「考え、議論する」授業を推進する。 指針1 「道徳の時間」の充実 ③ 生徒が安心して豊かに生活できる「あったかい学校」づくりに、生徒中心の主体的な取組を継続する。 指針2 体験活動の充実
	担当		

2 生徒の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

生徒一人ひとりは一見落ち着いて穏やかに生活している。だが、自分を中心に物事を考えて行動する生徒や、軽い気持ちで相手を傷つけてしまう発言をする生徒もいる。また、そのような態度に対して、我慢することで解決してしまおうとする生徒も多い。自ら解決する能力を備える手助けができればと考えている。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳の時間」の充実

【視点2:生徒にとって魅力的な教材】

- ・道徳教育の要となる「特別の教科 道徳」において、今生徒に必要なことを取り上げることで、多様な考え方や、他人を思いやる気持ち、自分を大切にすること、感謝の気持ちをもてるようにすることをめざす。
- ・全職員で道徳の授業づくりを行い、道徳授業の公開を進めていく。
- ・公開授業週間などを通じて、地域・保護者、家庭との交流を図れる授業を展開できるような工夫をし、生き方について共に学べる時間を設けることで、考えるきっかけを作っていく。

指針2 体験活動の充実

【視点3:望ましい集団活動】

- ・生徒会を中心に「あったかい学校」作りに向けて、あらゆる場面で安心して過ごせるよう、環境作りに努め、学級集団はもちろん、学年・地域とのつながりを築くようにする。

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

【視点7:子どもの社会的スキルの育成と安全・安心な学級・学校風土の醸成】

- ・教育相談やスクリーニング、各種アンケートを全職員で分析し、個々の生活や授業に活かしていく。
- ・社会的スキルを育成、豊かな人間関係を育めるような展開を多く作っていく。